日本の里海を考える

瀬戸内海・周防灘・長島から

瀬戸内海は豊かな海の幸と自然、独特の多島景観によって、我が国最初の国立公園に指定されました。しかし近代化・工業化による開発によって、今日大きく姿を変えています。

その中にあって、西瀬戸の周防灘には奇跡的に昔ながらの自然環境、日本の里海の原風景が残されてきました。しかしこの地に、原子力発電所の建設計画が進められようとしています。人と自然が豊かに共生するこの「周防灘・長島」の生命圏について学び、「里海」保全について考えます。

緊急ワークショップ開催!!

10/13(水)午後2〜3時

(会場：参議院会館 B107 会議室)

「海の地域活性化
—最前線の現場から—」
レポート：新井章吾さん

日本中の海を見てきた新井さんが豊かな海の自然を活用した地域活性化の実例を報告。参加者と海の利用と保全の方向を探ります。

10月13日(水) 午後3〜4時
参議院議員会館 B107 会議室

報 告

「里海の保全とその活用」新井章吾さん（海藻研究所所長）
「長島周辺の環境調査から」高島美登里（長島の自然を守る会）
「祝島の漁業の現状」山戸貞夫さん（祝島島民の会）

主催：「長島の 自然を守る会」（代表　高島美登里）
ホームページ　http://www2.ocn.ne.jp/~haguman/nagasima.html
スナメリ通信　http://green.ap.teacup.com/sunameri/
連絡先：高島（090-8995-8799）　澤井（090-4422-5394）